

設計・計画部門

おの たつ や
大野 竜也

生年月日 1984年7月岡山県生まれ
最終学歴 2008年福山大学工学部
建築学科

業務経歴 2008年株式会社藤総合計画
入社、現在、設計主任

●担当した主なプロジェクト

2011年 東広島市消防局 東広島消防署

2014年 京都市立八瀬小学校

2015年 善通寺市消防本部

2016年 名古屋大学（東山）総合研究棟

2016年 豊橋市美術博物館

2017年 高松市屋島競技場

※年は竣工年を示す

■青年技術者のことば

特殊的普遍性

すべての土地には歴史や文化など様々な記憶があります。建築の設計とはそれらを一番良い状態、またはこれからさらに良い状態をつくるように「調律」するような作業だと考えています。

建物をつくる行為は設計時と建物完成時では常に時間のギャップが生じます。さらにその後、建物が生きていく年月を考えると、建築には長い年月を耐え抜く強さが必要です。その強さをつくりだすために最も大事なことは、普遍性をもった「問題設定」とそれに対する「深度のある建築的解答」です。またその普遍性とは、それぞれの建築や土地を持ったパラメーターを独自にチューニングした「特殊的普遍性」だと考えています。

手で考え、手でつくる建築

私は建物を考えるとき、手で描き考えることを大事にしています。敷地に初めて立った時の感触、そこから手がかりの模索、また物質に寸法を与えていくことなど、どの場面においても手で考えることで建物をつくっていきます。建物を使うのは人です。それをつくるプロセスも、人の手が入ることがしっくりくるのです。

■すいせん者

吉田諭司

(株)佐藤総合計画 関西事務所

執行役員 関西事務所長



東広島市消防局 東広島消防署

迅速な出動動線、前後出動可能な車庫、広い訓練スペース、を十字形平面で実現。交点には消防専用階段を設け、車庫上には防災学習エリアを設け防災啓発を行う。



京都市立八瀬小学校

八瀬舞台（中庭）を囲むRC+木造の混構造の小学校。音楽室のサッシは全てが開放し、中庭とつながる。



善通寺市消防本部

意匠・構造機能の合理性を追求した防災の檜（やぐら）



豊橋市美術博物館

豊橋公園内にある美術博物館の増築。新規ラウンジには公園に張り出す大庇を設け、建物と公園の関係性をさらに強める計画としている。



高松市屋島競技場（屋島レクザムフィールド）

屋島を背景に高さの可変する屋根により、周囲への配慮と、選手の高揚感、観客の臨場感の向上を満す競技場を考えた。

